



## トピックス/ 1日研修

Revised

# ハラスメントの防止・対応

～もう、知らないでは済まされない～

### ➤ 本研修の概要とねらい

- ① ハラスメントの基礎知識や防止方法を習得する。
- ② 起こってしまった場合の適切な対応方法を習得する。
- ③ ハラスメントのない良好な職場環境を築く。

### ➤ 主なコンテンツ

「今、よく聞く『ダイバーシティ』。実はそれが解決策！」、「今一番注目のハラスメント『パワハラ』について検証」、「いまだに無くならない『セクハラ』について」、「『マタハラ』、知っておいて欲しい女性の『リアル』」、「ハラスメントは個人の問題ではなく、組織の問題！」など（詳細は裏面のタイムテーブルをご参照ください）。

### ➤ 受講対象（推奨）

- ・管理・監督職員
- ・一般職員



一般社団法人 日本経営協会講師  
大谷 邦郎（おおたに くにお）

大学卒業後、毎日放送入社。「記者」・テレビでは経済番組のプロデューサーとして活躍。

ラジオ記者時代には「ギャラクシー賞大賞」や「民間放送連盟賞最優秀賞」などを受賞。その後、「ラジオ報道部長」、「宣伝部長」、「人事局キャリア推進部長」を歴任。その後独立し、現在に至る。

セミナー・講演は多数。また、近年では、障害を持つ当事者とチームを組んで「ダイバーシティ研修」も積極的に行っており、今回のハラスメント研修の、「マタハラ」の部分はそのチームのメンバーである「助産師グループ」が担当する。

### 本講師の他の研修

- a. 危機管理
- b. 広報
- c. LGBT

# ハラスメントの防止・対応

## 1日研修タイムテーブル案

内容	すすめ方
<b>1. オリエンテーション・アイスブレイク</b> ◇ ご存知ですか？ハラスメントを起こすとどうなるか？	まず、ハラスメントを起こすと、どんな風にメディアに取り上げられ、どんな逆風に晒されるかを、様々な事例を挙げますので感じていただきます。
<b>2. 今、よく聞く「ダイバーシティ」。実はそれが解決策！</b> ◇ 「ダイバーシティ」の意味、狙い、そしてその効果本当にご存知ですか？  ◇ 今やまさに「ハラ・ハラ時代」。何故、こんな時代になったのか、考えてみよう！	最近、よく聞く「ダイバーシティ」。未だにこれをCSRの一つにしか思っていない方が多いのですが、「様々な価値観を認めること」がダイバーシティですから、実は、ハラスメント対策にもなるのです。 「〇〇をするな！」と言う研修は、どうしても後ろ向きになってしまいますが「ダイバーシティを推し進めよう」と言う研修は、前向きになれるので、まず、そこから理解していただきます。
<b>3. 今一番注目のハラスメント「パワハラ」について検証</b> ◇ パワハラになるその「範囲」について学ぼう	ついに企業にパワハラの防止策を義務づける関連法が国会で成立し、大企業では2020年の4月から適用されます。そのポイントに関して学んでいただきます。
<b>4. いまだに無くならない「セクハラ」について</b> ◇ 「LGBT」に関しても知っておいて下さい	今でも「そんなつもりはなかった」と言い訳する輩がいますが、セクハラに「意図」は不要です。様々なケースを示しながら、セクハラについて学んでいただきます。また「LGBT」に関しても、ちゃんとした知識を持っておいていただこうと思います。
～ 昼食・昼休憩～	
<b>5. 「マタハラ」、知っておいて欲しい女性の「リアル」</b> ◇ 「妊娠おめでとう！やったね！万歳！」はNG？  ◇ そもそも「悪阻」って読めますか？	「妊娠」、それは生命の奇跡。しかし、そうしたことを理解しないことから、無神経な発言や行動はハラスメントへと発展する。そもそも生理や妊娠、出産、更年期等女性の「リアル」をご存知ですか？ この時間は女性の身体のスペシャリスト「助産師」が講師を務め、男性にも知っておいてもらいたい女性のリアルを紐解きます。
<b>6. ハラスメントは個人の問題ではなく、組織の問題！</b>	ハラスメントは、決して個人の問題ではありません。それは組織の問題です。あなたの職場にハラスメントを生み出す“素地”はありませんか？特に、大きな問題は「コミュニケーション不足」。 どんな組織になれば良いか、改めて参加者同士で考えます。
<b>7. 今日の「まとめ」、今回感じたことの「発表」</b>	

### ■ 本研修を受講した研修生の感想

⇒ 様々なハラスメントについて改めて知ることができました。

### ■ 本研修コーディネーター担当者からのワンポイントメッセージ

⇒ 受け入れやすい語り口調に定評のある講師です。また、「マタハラ」のパートは現役の助産師が講師として登壇いたします。

## 本研修に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本経営協会 関西本部

〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-8-4(大阪科学技術センタービル)

電話 06-6443-6925 FAX 06-6441-4319 URL <http://www.noma.or.jp>